



有徳だより

自由と規律

令和2年度 第10号 発行：東京都板橋有徳高等学校 定時制 教務部

令和3年3月22日発行

第12回卒業証書授与式 3月4日（木）

この日、3年次の生徒3名と4年次の生徒14名が板橋有徳高校定時制を卒業しました。今日の板橋有徳高校には、穏やかな陽気の中に風がそっと吹いていました。新たに旅立つ17名の背中を温かく、そっと優しく押し出してくれる風だったかもしれません。

卒業証書授与では、担任の先生から卒業生全員の呼名の後、代表生徒1名ずつが登壇しました。校長先生は、代表の卒業証書を読み上げ、同級生の分も含めた証書を卒業生に授与しています。

また、直接伝えられない「卒業おめでとう。」の一言を表情で送っているようでした。受け取る生徒の表情は、「ありがとうございます。」と伝えているように見受けられます。卒業生一同が校長先生に礼をした後、代表生徒が仲間の分も含めた証書を脇に抱え、ゆっくりと降壇しました。



卒業生たちは、視線を前方に向け、校長式辞、在校生代表の送辞をそれぞれに聞いていたことでしょう。卒業生代表の答辞の一部では、中学生までの自身の姿から板橋有徳高校定時制に入学して成長し卒業を迎えたこの瞬間の姿について触れられている部分がありました。校長先生の前に立ち答辞を述べる卒業生代表の声は、強い想いが込められていて、担任の先生や仲間だけでなく列席しているすべての方へ届けられたと思います。



最後の写真は、式を終えた卒業生全員が卒業証書を手をしている一枚です。フィルムに収められた景色は、卒業を手にした卒業生の多くの笑顔の後方に、微笑む先生や喜びを身体全体で表現した先生たちがいます。

今日までの高校生活でそれぞれが得た経験を糧にして、4月から始まる一人ひとりの新たな生活に活かせることを期待しています。

卒業おめでとうございます 定時制 一同



1・2年次 体育 2月12日(金)

1月～2月は、持久走の季節です。昼間に春の陽気を感じられましたが、授業の時間帯には校庭に冷たい空気が漂っていました。「走りたくない～」、「寒いから帰りたい～」といくつかの声が、夜空へ消えていきます。

準備体操の後、列になり、トラック1周(200m)をウォーミングアップで走ります。この日は、7分間走を3セット行います。目標は、止まらずに走り続けることです。

先生の「スタート!」の掛け声と同時に「7:00」にセットされたタイマーが動き始めます。一人ひとりが、止まらずに走り続けることを意識して、それぞれにペースを調節していたことでしょう。体育科の先生たちも並走しながら、生徒たちに声をかけています。中には、最後までほぼ一定のペースを維持したまま走りぬく生徒もいました。

走り終えた後は、先生と1周あたりのペースについて話したり、腰を下ろしてクールダウンしたりするなど様々です。最後に、先生から全体に「(生徒の)皆さんそれぞれがタイムを意識して、7分間しっかりと走りぬくことができていました。」と講評がありました。



1年次 現代社会 1月29日(金)

担任の先生による「世界のおもな政治体制」の授業です。先生は、政治に関するニュースについて、生徒の知っている出来事を質問しました。生徒たちはそれぞれ「トランプ」、「バイデン」などアメリカの政治に関する内容を答えています。

これらのキーワードを待っていたかのように先生は、トランプ支持者による議事堂襲撃事件のヤバさ(深刻さ)について話し始めます。先生によると、アメリカの新大統領就任式において、バイデン氏がスピーチで最も使用した単語が「democracy(民主主義)」だったようです。

生徒たちは、日常で起こるさまざまな出来事と授業で学んだ内容が結びついて、一層深く理解できたことでしょう。



卒業生を送る会 3月3日(水)【編集者NのPick Up!!】

卒業式前夜の様子です。生徒会メンバーが、「先生からのビデオレター」を企画し、卒業生の皆さんへ届けました。

校長先生から始まり、バドミントンに挑戦する先生、二重跳びを続ける先生、どこかへ走り去っていく先生、動画の中でさらにプロジェクターを使う先生、頭が傘・目がペットボトルのキャップに浸食される先生などが登場しました。

視聴覚室では、それぞれの先生らしさが詰まっている内容に、時折うなずく生徒や、笑みをこぼす生徒の様子が見受けられます。オンラインによる同時配信を視聴した在校生は、退場する卒業生を拍手機能で祝福しました。卒業生にとって、旅立つ前に充実したひとときを過ごせたことでしょう。

